令和８年度

岡谷市　市民アンケート調査

報　告　書

岡谷市

目　次

Ⅰ　調査概要…… 2
　１．調査目的…… 2
　２．調査設計…… 2
　３．回収結果…… 2
　４．報告書を見る際の注意点…… 2
Ⅱ　調査結果…… 3
　１．属性…… 3
　　（１）性別…… 3
　　（２）年齢（年代）…… 3
　　（３）世帯人数…… 4
　　（４）同居している 18 歳未満の子どもの数…… 5
　　（５）職業…… 6
　　（６）居住年数…… 9
　２．インターネットの利用について…… 10
　　（１）所持している情報通信機器…… 10
　　（２）最もよく使う情報通信機器…… 11
　　（３）過去１年間にインターネットを利用したことがあるか…… 12
　　（４）インターネットの利用目的…… 13
　　（５）利用している SNS とその利用頻度…… 15
　　«利用している SNS»…… 15
　　«利用頻度»…… 17
　３．キャッシュレス決済の利用について…… 20
　　（１）日常生活のキャッシュレス決済の利用状況…… 20
　　（２）利用しているキャッシュレス決済…… 21
　４．自然災害への備えについて…… 23
　　（１）自然災害に備え、災害に対応できる備えをしているか…… 23
　５．健康づくりについて…… 25
　　（１）朝食の摂取状況…… 25
　　（２）朝食を食べない理由…… 26
　　（３）運動・スポーツ（ウォーキングや散歩等の軽い運動を含む）の頻度…… 27
　　（４）健康診断・人間ドックの受診状況…… 28
　　（５）健康診断・人間ドックを受けていない理由…… 29
　　（６）がん検診の受診状況…… 31
　　（７）がん検診を受けていない理由…… 32
　６．窓口時間短縮について…… 34
　　（１）窓口時間短縮の取組の重要性と日常生活への影響度…… 34
　　«取組の重要性»…… 34
　　«日常生活への影響度»…… 36
　７．岡谷市の暮らしやすさについて…… 37
　　（１）岡谷市の暮らしやすさ…… 37
　　（２）岡谷市での今後の居住意向…… 38
　　（３）岡谷市に住み続けたいと思う理由…… 40
　　（４）岡谷市に住み続けたくないと思う理由…… 44
　８．岡谷市が行っている施策や事業などについて…… 48
　　（１）施策や事業などの満足度と重要度…… 48
　　«①満足度»…… 48
　　«②今後 10 年間の重要度»…… 52

«満足度と重要度の関係»…… 56
（２）市政について知りたい情報……57
（３）市からの情報の入手方法……60
（４）岡谷市の行政施策全般の満足度……63
９．今後のまちづくりについて……64
（１）まちづくりで取り組むべき分野の優先度…… 64
（２）まちづくりに対する市民参加の機会への参加意向…… 69
（３）岡谷市の人口減少に対する考え…… 70
（４）人口減少に対して不安に思う理由…… 71
（５）人口減少対策について力を入れるべきこと…… 74
（６）行財政改革に向けて、岡谷市が優先的に行うべき項目…… 77
Ⅲ 調査票…… 80

Ⅰ　調査概要

Ⅰ　調査概要

１．調査目的

市民が、自身や家族、あるいは地域の状況をどのように捉え、また何を優先してまちづくりに取り組むべきと考えているのか、継続的に調査・分析し、その結果を市政運営に反映させるために実施しました。

２．調査設計

調査対象：18歳以上の市民

調査方法：郵送配布・郵送回収またはインターネット回答

抽出方法：無作為抽出

調査期間：令和８年６月８日（月）～６月29日（月）

３．回収結果

発送数：1,200票

回収数：423票

回収率：35.3％

有効回収数：421票

有効回収率：35.1％（郵送304票・インターネット117票）

※有効回収数とは、回収されたが記入がない調査票、表紙がなく重複が確認できない調査票を除いた数のことです。

４．報告書を見る際の注意点

・基礎となるべき実数は調査数ｎとして記載しています。

・比率はすべて百分率で表し、小数第二位を四捨五入しています。
　そのため、百分率の合計が100％にならないことがあります。

・複数回答可能な設問の場合、回答比率の合計が100％を超えることがあります。

・性別を分析軸とするグラフでは、性別を「その他」と回答した人がわずかであったため、「男性」「女性」のみの掲載としています。

・「暮らしやすさ」を分析軸とするグラフの項目は「暮らしやすい」と「どちらかといえば暮らしやすい」を合わせて『暮らしやすい』、「暮らしにくい」と「どちらかといえば暮らしにくい」を合わせて『暮らしにくい』としています。

・「行政満足度」を分析軸とするグラフの項目は、「満足している」と「やや満足している」を合わせて『満足している』、「不満である」と「やや不満である」を合わせて『不満である』としています。